



一緒にまちを歩こう！ ～小学3年生の大冒険～

毎年、小学校の社会科の授業で、小学3年生を対象に『校区探検』が実施されています。今年度は、荻野小学校の奥村校長先生と荻野小学校地区自治協議会の阪上会長が話し合い、『校区探検』と『地域ビジョン策定のためのまちあるき』を合同で実施し、地域の大人たちと子どもたちが一緒に校区内を巡りました。これは、市内で初めての試みでした。

子どもたちは、地域の自治会役員を中心としたボランティアの皆さんによる解説を聞きながら、地域のことやまちづくりへ参画する感覚を学びました。

また、地域の方々も、子どもたちの目線で出た意見を聴くことで、将来のまちの姿を考える良い機会となりました。

まちあるきに参加した子どもたちは、『未来のはかせ候補』として、それぞれの発見や学びを得たようです。



旧地名について
説明を聞く様子

東野地区の野井戸について説明
を聞く様子



市内初コラボ！

校区探検・まちあるき 荻野小学校地区自治協議会 荻野小学校

～小学校区ごとのまちづくり～

伊丹市では、小学校区単位で多様な団体・個人が協力し、10年間の活動指針となる『地域ビジョン』をつくり、そのビジョンの実現に向けて、まちづくりを行う取組みが進められています。その地域ビジョンの策定の一環として、小学校区内の資源や課題などを実際に見て回る「まちあるき」が行われています。



荻野小学校地区自治協議会
会長 阪上 忠昭 さん

未来のはかせ候補の発見！！ ～荻野小学校生徒のコメント～

校区探検してみて、荻野には田んぼや果樹園、オリーブ畑など多くの自然があった。また、精米機も見れてよかった。

神社やお寺の中に入って見学できてよかった。公園がいっぱいあった。見守りカメラも多くあって安心だと思った。

荻野小学校は昔、田んぼだったと教えてもらってビックリした。準備に3か月もかけていただきありがとうございます。

兵庫県条例による安全・安心の 兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）

自然災害による住宅や家財の被害に対し、再建・補修の費用を給付する基金制度です。我が家の安全・安心のためにぜひご加入ください。

区分	負担金	被害認定	給付金
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円
	年額500円追加	準半壊※2	最高25万円
家財再建共済※1	年額1,500円	床上浸水以上	最高50万円

※1 住宅再建共済と家財共済の両方にご加入の場合、最大500万円負担金が割り引きになります。

※2 損害割合10%以上20%未満

定額負担、
定額給付で安心！



お問い合わせ先

フェニックス共済

検索

(公財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400 (平日9時～17時)
阪神北泉民局フェニックス共済担当 ☎0797(83)3122 (平日9時～17時)



プロジェクトに携わっている役員の皆様

しあわせのベンチプロジェクト

花里小学校地区自治協議会

コロナ禍でも笑顔が見たい！ プロジェクト始動！！

-しあわせのベンチプロジェクトを始めたきっかけは-

花里小学校地区自治協議会が地域住民を対象に行ったアンケートの中に「家からスーパーが遠い」というご意見があったことや、ネット会議にて「地域のマンション敷地内のベンチを住民が利用することで交流の場生まれている。」という情報をヒントに、高齢者が買い物の途中で休憩できる場所を設け、「休憩」に加え、「交流」や「見守り」のできる場を増やしていくことをねらって、ベンチの設置をはじめました。

下記赤丸印(●)が設置場所です。



-実際作成してみて、苦労された点や良かった点を教えて下さい-

苦労した点は、まず花里地区のどこに設置すればいいか、地図上でチェックし、実際にまち歩きをしました。その結果、狭くて設置できなかったり、市道や公園は市の許可が必要で手続きも初めてで大変だった事などです。

また、ベンチ製作は初めてだったので、インターネットで調べたり、縮小版を模型で作ったりと苦労がありました。資金面では「赤い羽根共同募金公募助成」が利用でき、製作・設置へと進めることができました。

良かった点は、設置後すぐに、高齢者の方から、「バス停で困っていた、本当に有り難い」と礼状が届いた事です。

また、小学生からは「赤い羽根の募金の使い道が判りました。これからも協力していきます」とベンチにメモがはさんであったことも良かった点です。

自治連会長よりメッセージ

『自治会は町の縁の下の力持ち！！』

この度、令和3年度総会におきまして、会長職を拝命いたしました佐々木憲治です。コロナ禍において、自治会活動の生命線であります「コミュニケーション」の希薄化が危惧され、祭り・餅つき・子ども神輿等伝統行事及び既存事業の一部は休止せざるを得ない状況下ではありますが、今一度、原点に立ち返って、自治会とは何かを考えてみました。

自治会連合会は市内190加入自治会から結成され、「住みよいまちづくりのための住民福祉、生活環境の向上及び生活安全の推進に寄与すること」を掲げ、諸問題の解決に向けて活動しております。各自治会の共通している主な事業は、自治会内の清掃、道路の安全確保、子どもの登下校の見守り活動、防犯灯の維持管理、防災訓練、居住者との数々のつながりと見守り活動等があります。それぞれの自治会が頑張っている活動されておられることにより、きれいな町に安全で安心して住むことができることになりました。

自治会連合会及び自治会は、「自分たちのため、私たちの町のため、みんなの町のため！」に頑張ります。今後とも、地域活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



伊丹市自治会連合会
会長 佐々木 憲治
(伊丹ブロック
光明町自治会長)